

市民フォーラム

市民フォーラムは「使い捨てプラスチック削減と東北地方のごみをめぐる取組み」(Prevention of Single Use Plastics and Efforts for Waste)と題して9月19日(木)13:30~15:00に開催された。主催は廃棄物資源循環利用のための市民講座実行委員会で、研究発表会実行委員会と消費者市民研究部会が共催した。約60名の参加があった。初めに瀬口亮子氏(水Do!ネットワーク)より「脱・使い捨て」に向かう世界と私たちの暮らし」と題して基調講演をいただいた後、当日参加可能な市民展示出展団体から短時間で各活動・展示内容を紹介いただいた。そして引き続き市民展示会場に移ってさらに展示を見ながら議論や交流が行われた。

基調講演では、使い捨てプラスチック問題の根本的要因・加速要因について概説された後、各国のレジ袋・ペットボトル削減の取組みや韓国の使い捨て抑制施策、国内外の使い捨てカップ削減の取組み等について紹介された。また瀬口氏が事務局長を務める水Do!ネットワークの取組みについても報告された。

市民展示出展団体からは主に海ごみ・川ごみ等に関する発表が行われた。「仙台リバーズネット・梅田川」からは川を模したブルーシート上に散乱ごみと見立てたお宝カードを並べる「さいころゲーム」等が、「バイオガス出前授業の会」からはバイオメタンで聖火を!との取組み等が報告された。「海辺のたからもの」からは浜辺の砂に含まれていた正体不明のプラスチック粒子について、「(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)」からは海洋ごみ調査の様子等が紹介された。「減らそうプラスチックの会」からはクイズや減プラ生活度チェック等が提示され、消費者市民研究部会からはアップサイクル活動・世界の分別箱写真展等の紹介があった。それぞれ工夫を凝らされた取組みが共有でき、有意義な機会となった。

